

行政改革に係る これまでの審議について

企画部行政改革推進課

行政改革に係る審議経過

区分	日時	議題
第1回	H26.10.27	柏市の将来人口について 財政状況について
第2回	H26.12.24	アクションプランの取組みについて
第3回	H27.2.26	—
第4回	H27.5.1	歳入増加に向けた取組みについて①(受益者負担) (1) 受益者負担の適正化 (2) 市営駐輪場の料金設定 第五次総合計画について
第5回	H27.7.2	歳入増加に向けた取組みについて②(資産の活用) (1) 未利用地の売却 (2) 庁舎駐車場の有料化事業 (3) 太陽光発電設備設置運営事業
第6回	H27.8.28	○歳入増加に向けた取組みについて③(税収の確保) (1) 法人市民税の推移 (2) 企業誘致の取組み (3) 収納対策 ○平成26年度決算の概要 ○財政推計① ○財政指標の目標値①

歳入増加に向けた取組みに係る主な意見①

(主な意見)

(取組みの方向性)

(駐輪場管理について)

- ・使用料の今後の進め方にとって、**総合計画との関わりは重要**。駐輪場料金も他市に合わせて料金を上げるのではなく、自転車の利用を促進するために料金を下げる判断もある。レンタサイクルの促進を図るため、料金を下げて利用率を上げることも考えられる。
- ・自転車の利用しやすい環境を整備するためには、利便性も重要。駅からの距離等によっては**民間駐輪場が参入できるような料金設定も必要**。
- ・受益者負担については賛成。**基準額に達していない使用料については早く基準額に合わせた方が良いと思う**。適正な料金でないということは、利用料金の一部を利用していない人が負担しているということでもある。適正水準まで一気に引き上げて良いのではないか。それがサービス水準の維持やサービスの劣化を防ぐために必要なことだと思う。
- ・鉄道事業者や百貨店などの大型店にも**駐輪場に関わる負担金をいただく**ことも検討しても良いのでは。



・受益者負担の適正化

歳入増加に向けた取組みに係る主な意見②

(主な意見)

(未利用地の活用)

・未利用地の売却については、必ずしも行政利用ではなく、将来的には売却するものと貸せるものについて、方針を立てたほうがよい。

(市役所駐車場の管理)

・市役所駐車場の有料化について、割引してほしいという利用者もいると思うが、適正な料金で運営した方がいい。市の補助金を活用している団体が駐車場割引を受けるということに抵抗を感じる。

(取組みの方向性)

・適切な資産管理

(安定した税の徴収)

・持続性のある財政基盤の構築には、人口が減少していく中でどのように収入を増やすか、財源をどう確保していくかが課題。昼間人口を増やすこと、個人住民税以外の税収を増やすことが重要。

・市営住宅の事例のように、これまで行わなかった建物明け渡し訴訟の実施など、私債権であっても市が債権管理をきちんと行うことを示した結果、他の債権管理においても市の姿勢を見て回収が進むなど、良い効果が現れている。

税収の確保

歳入増加に向けた取組みに係る主な意見③

(主な意見)

(創業支援)

・創業しても短期間で廃業したり、企業誘致しても雇用や税収に繋がらなかったりでは意味がない。企業の成長に対するフォローは今後必要。

(企業誘致)

・幅広い企業に柏市を周知する手段を考えないといけない。
銀行と連携して都心でのセミナー開催や外資系企業を対象としたセミナーの開催も面白い
・柏市の強みを生かして企業・業種にアピールするため、対象を特定する必要がある。柏市の強みは、大学や研究機関があり、人材が豊富であること

(取組みの方向性)

・企業誘致, 企業支援の推進

(農業の活性化)

・柏市における地方創生は、手賀沼周辺と利根遊水地など農業を中心としたまちづくりによる活性化である。農業振興, 観光, 農業の6次産業化を積極的に進めていきたい。

(雇用について)

・雇用を含めた広い意味での産業政策を考えないと、企業誘致だけが突出してしまう気がする。

・産業振興の推進

財政状況に係る主な意見の集約

(主な意見)

(財源確保について)

・扶助費は必然的に上がってきってしまうが、人件費で調整するのは最後の手段。市民に負担していただく等の工夫が必要。
また、委託や売却が可能なものは実行するべき。



(取組みの方向性)

・**財源確保の推進**

(財政指標について)

・資金繰りを経常収支比率、償還能力を将来負担比率で測っていく。財政基盤強化度は柏市独自の指標であるが、他市数値も決算カードから算出可能
・財政推計の前提条件として、経済成長は未反映とあるが、経済成長と企業誘致を組み込んだ推計と、経済成長も企業誘致も見込まない推計など複数のパターンを作るべき。
・将来負担比率では大きな心配はないように見えるかもしれないが、公債費負担比率が他の自治体と比較すると高い。柏市の経常収支比率が高いのは、公債費の償還が影響している。一つの指標を維持すれば財政が健全化になるというわけではない。
・財政指標を達成したからといって、住みやすい街、良い街かというとそういうわけでもない。財政のメリハリとバランスが重要である。



・**財政指標の適切な管理設定**